

平成13年11月22日

各 位

株式会社 安楽亭(コード7562)
埼玉県さいたま市上落合2-3-5

高収益構造への変革について

現在、安楽亭では、次の成長機会に備えて高収益構造への変革に取り組んでおります。当社の理念である「お客様に、こだわり抜いた本物の食材を、安全に安く、いい雰囲気のお店で提供する」をより一層追求しつつ、環境変化にも柔軟に対応し、常に高収益を確保できる企業構造の構築に向けて、全社一丸となってその実現にまい進しております。

安楽亭が取り組んでおります経営改革は、「 . 店舗の質の高度化」「 . 収益構造の改善」をテーマとしてとらえております。これは、狂牛病の影響を出来るだけ緩和させると共に、牛肉消費が回復軌道に傾いた後の、店舗競争力の強化、出店戦略の強化という、質的な強化と量的な拡大の2つの目標を両立させることを目的としております。

「店舗の質の強化」につきましては、これまでも取り組んでまいりました、飲食業の原点である安全で自然な食材を用い、お子様からお年寄りまでの健康に配慮した料理の提供を徹底すると共に、料理の味の改善、店舗機能の高度化、接客要員によるフレンドリーサービス等を実施してまいります。これまでよりも商品、サービス、雰囲気の質を高めつつ、これまで同様に低価格戦略を踏襲し、お客様に高い満足感を与える店舗運営を推進してまいります。

「収益構造の改善」につきましては、店舗の管理単位を個店ベースから複数店ベースに変更する MPU (managerial profit unit) 管理を新たに構築し、教育制度の確立により店舗のパート化を進め、人件費を削減してまいります。それに伴い、店舗社員に対して報奨制度を導入し、社員一人あたりの生産性を向上させ、管理部門のコストを削減してまいります。その他、地価の下落に伴う、既存店舗の家賃の見直しや不採算店舗のスクラップ、店舗改装により1店舗あたりの営業利益率を大幅に引き上げてまいります。

これらの変革により、安楽亭は焼肉業界のリーディングカンパニーとして、お客様の一層の支持を獲得し、ステークホルダーに対する責務を全うすることで、来期以降の継続的拡大、発展を目指します。

高収益構造への変革

・店舗の質の高度化

・収益構造の改善

人材教育

- ・社員教育、パート教育の強化
- ・パートに対して職位制度の導入

改装フォーマット

- ・改装の期間短縮化
- ・改装の質の向上

不振店対応

- ・環境変化に即応した各種施策の実施
- ・個店別の対応策の早急な実施

企画の強化

- ・メニューの改善
- ・積極的な販促活動

料理の味の改善

- ・おいしさの追求
- ・コックの採用強化
- ・人員の調理部門への優先配置

M P U 管理

・店舗毎に社員を配属して店舗を管理する方式ではなく、2～5の複数の店舗をまとめて管理単位に設定し、その管理単位に対して社員を配属することで、複数の店舗の管理を平行して行う。

店舗管理の効率化
パート化の推進
人件費の削減

報奨制度

・M P U で管理する複数店舗の営業損益等の結果を給与に反映させ、能力、成果がより明確に反映する賃金体系へ移行する。

経営者感覚の育成
生産性の向上
収益構造の強化
経費の無駄の廃除

人件費の変動費化

- ・パート化の推進
- ・成果に応じた賃金体系

スクラップ&ビルド

- ・不振店基準のアップ
- ・飲食業のさらなる多極化
- ・店舗開発の強化

間接部門の効率化

- ・小さな管理部門の実現
- ・管理部門の少数精鋭化

食材ロスの削減

- ・未解明ロスの原因究明
- ・解明ロスの削減

仕入れコストの削減

- ・バイヤーの強化
- ・流通経路の見直し

家賃の再設定

- ・地価下落に伴う既存店舗の家賃交渉の実施

財務体質の改善

- ・資産リストラ

お客様に高い満足感を与える運営

1店舗あたりの営業利益率の改善

狂牛病の影響の緩和
質的強化と量的拡大の両立

高収益構造への変革により継続的な拡大、発展を目指す